

平成28年(2016年)6月の結果 (二人以上の世帯)

消費支出

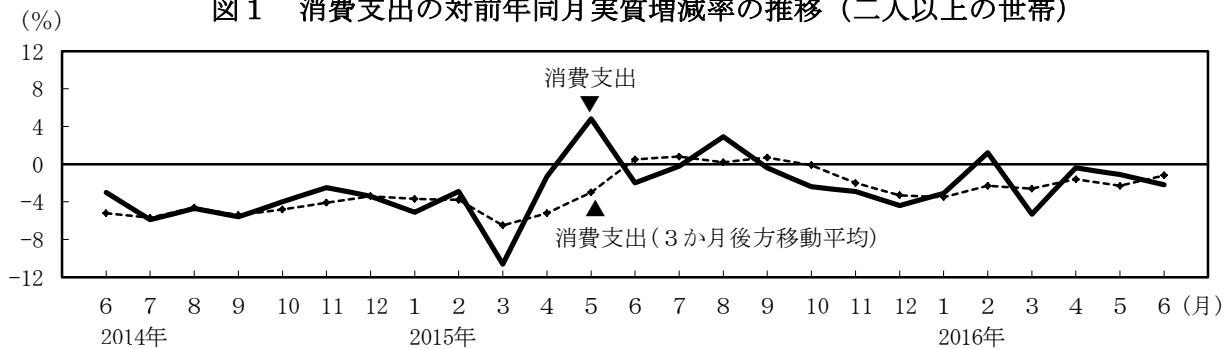
・消費支出は、1世帯当たり 261,452 円
 前年同月比 実質 2.2%の減少 名目 2.7%の減少
 前月比(季節調整値) 実質 1.1%の減少

・消費支出(除く住居等*)は、1世帯当たり 232,557 円
 前年同月比 実質 0.3%の減少 名目 0.8%の減少
 前月比(季節調整値) 実質 0.4%の増加

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2015年							2016年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	-2.0	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.1	1.2	-5.3	-0.4	-1.1	-2.2
消費支出(除く住居等*)	-1.4	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.8	1.9	-4.3	0.4	-0.9	-0.3

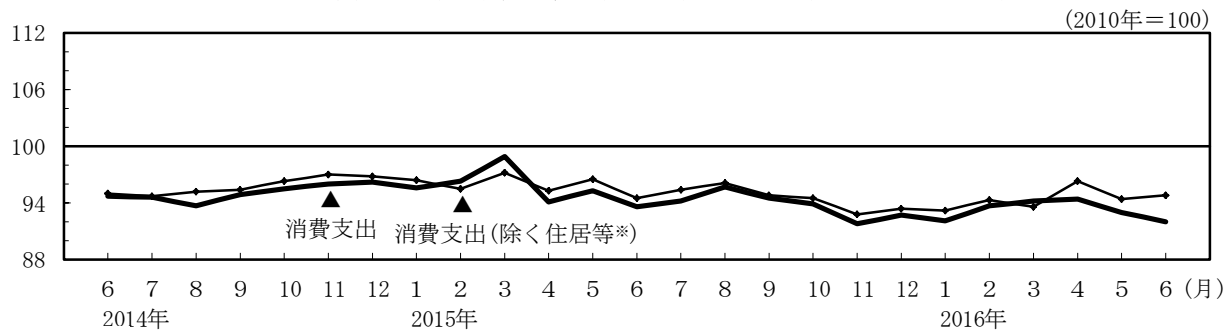
(参考)3か月後方移動平均

	2015年							2016年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	0.5	0.8	0.2	0.7	-0.1	-2.0	-3.3	-3.5	-2.3	-2.6	-1.6	-2.3	-1.2
消費支出(除く住居等*)	1.3	1.1	0.5	0.7	-0.5	-2.1	-3.3	-3.4	-2.0	-1.9	-0.8	-1.6	-0.3

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年							2016年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	93.6	94.2	95.7	94.5	93.9	91.8	92.7	92.1	93.7	94.2	94.4	93.0	92.0
対前月変化率(%)	-1.8	0.6	1.6	-1.3	-0.6	-2.2	1.0	-0.6	1.7	0.5	0.2	-1.5	-1.1
消費支出(除く住居等*)	94.5	95.4	96.1	94.8	94.5	92.8	93.4	93.2	94.3	93.6	96.3	94.4	94.8
対前月変化率(%)	-2.1	1.0	0.7	-1.4	-0.3	-1.8	0.6	-0.2	1.2	-0.7	2.9	-2.0	0.4

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年6月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	261,452	-2.7	-2.2	-		4か月連続の実質減少
食料	69,945	1.0	-0.1	-0.02	<減少> 肉類, 外食など	3か月ぶりの実質減少
住居	14,666	-21.8	-22.2	-1.55	<減少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3か月連続の実質減少
光熱・水道	18,232	-9.3	-0.7	-0.05	<減少> 上下水道料, ガス代など	2か月ぶりの実質減少
家具・家事用品	10,618	-1.9	-1.9	-0.08	<減少> 室内装備・装飾品, 家事雑貨など	2か月ぶりの実質減少
被服及び履物	10,717	-0.2	-2.2	-0.09	<減少> 洋服, 他の被服など	2か月ぶりの実質減少
保健医療	12,852	6.2	5.6	0.25	<増加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具など	2か月ぶりの実質増加
交通・通信	35,255	-6.1	-3.8	-0.53	<減少> 自動車等関係費, 交通など	2か月ぶりの実質減少
教育	7,049	-13.4	-14.6	-0.44	<減少> 授業料等, 補習教育	2か月連続の実質減少
教養娯楽	27,763	0.3	-0.8	-0.08	<減少> 教養娯楽サービス, 書籍・他の印刷物	4か月連続の実質減少
その他の消費支出	54,355	1.5	(2.0)	(0.40)	<増加> 諸雑費	13か月ぶりの実質増加
消費支出 (除く住居等)	232,557	-0.8	-0.3	-		2か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
設備修繕・維持	[-1.02]	外壁・塀等工事費, 設備器具
教養娯楽サービス	[-0.29]	外国パック旅行費, 宿泊料
自動車等関係費	[-0.22]	自動車購入, ガソリン
交通	[-0.21]	航空運賃, 鉄道通勤定期代
通信	[-0.13]	固定電話通信料, 郵便料
<増加項目>		
調理食品	[0.14]	弁当, 調理パン
教養娯楽用品	[0.14]	ゴルフ用具, ペットフード
飲料	[0.11]	茶飲料, 緑茶

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

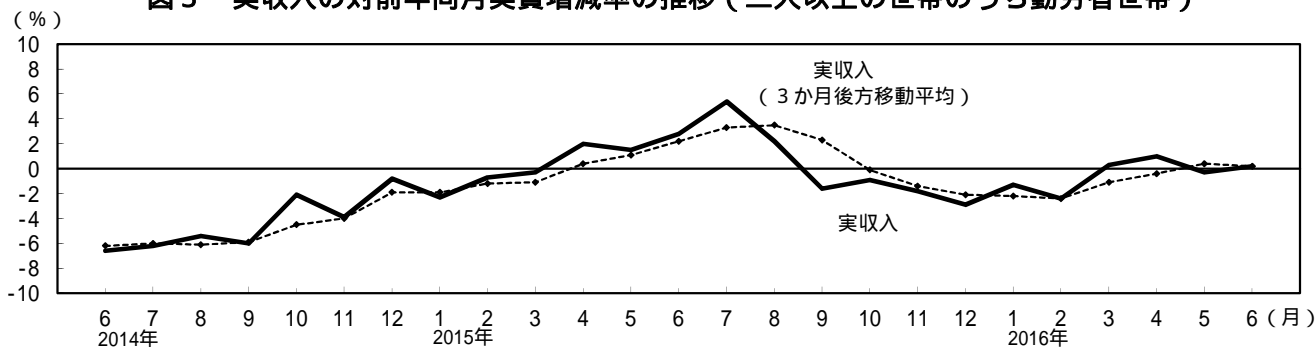
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 731,099 円
 前年同月比 実質 0.2%の増加 名目 0.3%の減少

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2015年							2016年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
実 収 入	2.8	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9	-1.3	-2.4	0.3	1.0	-0.3	0.2	
(参考)3か月 後方移動平均	2.8	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	
	名 目	2.8	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2
	実 質	2.2	3.3	3.5	2.3	-0.1	-1.4	-2.1	-2.2	-2.4	-1.1	-0.4	0.4	0.2

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2016年6月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	731,099	-0.3	0.2	-	2か月ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	565,147	-0.3	0.2	0.17	3か月連続の実質増加
定 期 収 入	345,722	-1.0	-0.5	-0.22	3か月ぶりの実質減少
臨 時 収 入・賞 与	219,425	0.8	1.3	0.39	
配 偶 者 の 収 入	87,432	-0.8	-0.3	-0.04	6か月ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	10,521	16.7	17.3	0.21	3か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	141,423	-7.1	-	-	2か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	589,676	1.4	1.9	-	2か月ぶりの実質増加
消 費 支 出	276,602	-5.6	-5.1	-	2か月連続の実質減少
平均消費性向(%)		(前年同月)(ポイント差)			季節調整値でみると69.4%で、前月に比べ5.8ポイントの低下となった。
	46.9	50.4	-3.5		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。